公明党
ながおくにただ
永尾 邦忠 議員

## 手話言語条例

**Q** **①条例制定後の取り組みは。**
**②手話奉仕員養成講座の現状は。**
**③手話通訳者養成講座の現状は。**
**④イベント等へ手話通訳者の参加を。**
**⑤職員が挨拶程度の手話ができるような勉強会にしてほしい。**

**A** ①条例の概要や手話に関する施策等を市の広報誌とホームページ上で市民に周知。また、聴覚障害者の外出等を支援するコミュニケーション支援事業や手話奉仕員養成講座を引き続き実施。今後は出前講座、聴覚障害者等に対する理解促進のための事業などに取り組みたい。
②県ろうあ協会に委託し、事業を実施。1年目の入門過程と2年目の基礎過程があり、40から50時間の講座。27年度から5年間で24名が修了。
③手話奉仕員養成講座修了者等を対象とした講座。県においては長崎市等で開催。島原半島での開催はないが、南島原市は自主的に開催。本市での実施を県に要望しているが、一定の受講者が必要であるので、半島両市と協議したい。
④派遣を今後は考えたい。
⑤市福祉課職員同士による手話ワンポイント講座を実施しているが、手話ができる職員の配置、筆談なども勉強して配慮していきたい。

## 補聴器の助成

**Q** **①障害者手帳を持っている方への補聴器購入の助成は。**
**②聴力の等級を設定しての助成を。**
**③高齢者の外出を阻害し、引きこもりの状況が発生しないのか。調査は。**
**④ヒアリングループの活用は。**

**A** ①本市の聴覚等障害による身体障害者手帳取得者は269名。補装具に助成制度がある。
②助成を独自に取り組んでいる自治体がある。事例を研究したい。
③調査方法を考えたい。
④雑音を遮断し、クリアに聞き取れる設備である。市でも研究したい。

**【その他の質問項目】**
**◇国道251号線、有明町大野浜バス停付近の横断歩道設置について**
**◇九州横断サイクリングコース（仮称）について**
**◇避難所としての中央高校体育館のトイレ設置について**
**◇中小企業に対する年末の資金繰りについて**

市民平和の会
くさのかつよし
草野 勝義 議員

## ワーク・ライフ・バランスと市職員の働き方改革

**Q** **仕事と生活の調和のとれた働き方（ワークライフバランス）の具体的対策は。**

**A** 健康増進を目的とした健康保持休暇の計画的な取得と毎週水曜日のノー残業デーを実施している。一人一人が活躍できる環境の整備に努めていく。

**Q** **長時間労働改善に向け、業務改善見直し対策委員会の設置はできないか。年休取得5日の取り組み状況については。**

**A** 各業務改善についてヒアリングを実施していく。取得計画表を作成させ、年休の使用促進に努めている。

**Q** **土日開庁のサービスについて、職員の働きやすい環境を実現するため日曜日開庁を無くし、土曜日のみ予約制にしてはどうか。**

**A** 市民の利便性、職員の労働環境等を含めて、両方のバランスが整うように今後研究する必要がある。

**Q** **「会計年度任用職員」制度について。**

**A** 法の改正により令和2年4月1日から非常勤職員制度が、新設された「会計年度任用職員」制度に移行され、期末手当や通勤手当を支給することになる。

## 教育現場での労働環境

**Q** **教員の勤務多忙化改善に向け、教職員一人一人の時間外勤務の記録はどうなっているのか。通信ネットワーク整備の考えは。**

**A** 自己申告による毎月出退勤記録簿の提出により把握している。教職員の事務負担が減るように、11月にICカードリーダーを各学校に導入した。学校間の通信環境の整備は計画的に進めていきたい。

**Q** **インフルエンザ補助事業を中学校までに。**

**A** 県内の状況を見ながら引き続き検討したい。

**【その他の質問項目】**
**◇産業振興展示会出展に対しての支援について**
**◇オルレによる観光交流の強化を求める**
**◇島原温泉ゆとろぎの湯・歩行湯の現状について**